

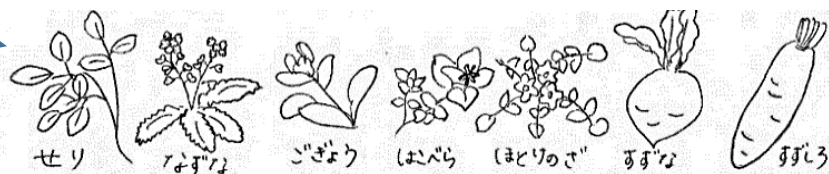


1月の給食だより

志木市立宗岡小学校
令和6年度1月号

七草粥

1月7日の朝に無病を祈って7種類の野菜をお粥に入れて食べます。
七草がゆをいただくと邪気を払い、万病を防ぐと言われています。
みなさんは食べましたか？給食では10日に七草汁を出します。



鏡開き

1月11日には、飾ってあった鏡餅を開く『鏡開き』が行われます。
鏡餅を割ることは、その年の仕事始めを意味し、縁起を担いで「割る」と言わず「開く」と表現します。お供え物をいただくことによって無病息災や食べ物大切にすることを育むことができます。給食では14日にぜんざいを出します。小豆からコトコト煮て作ります。



＜令和6年11月25日の朝日新聞にのっていた記事です＞

「朝日新聞社に無断で転載することを禁じる」承諾番号24-3193

「当たり前」の違い 給食で知る

地元の小中学校を経て高校生になり、様々な所から人が集まる環境を初めて体験した。大きな違いは感じなかったが、学校給食を話題にする時は大きい違いが見えて、興味深いと思った。

入学した頃小中学校時代の給食が話題になった。私にとっての「当たり前」の話が同級生に通じない。県内各地から東京の子までいる。パンは形や味が違い、牛乳もメーカーが違う。それぞれの「当たり前」は一方通行。話は盛り上がりえず終わる。成長するにつれ、みんなが「これ知ってる？」と教え合い「当たり前」の違いを楽しみ盛り上がるようになった。「違う」ことが会話の種になることに気づき楽しくなった。

生まれ育った環境が生む「当たり前」がなぜ違うのか。私は大学で哲学を学び「当たり前」とは何か探求したい。大学は高校以上に広い地域から学生が集まるから価値観も様々。違いを楽しんでいきたい。

(埼玉県 18)

1月24日～30日は全国学校給食週間です。

明治22年に山形県で始まった学校給食ですが、昭和になり戦争が始まると食料不足から中止されました。しかし、子供たちの栄養状態は悪化してしまいました。日本の子供たちの様子を知り、世界各国から支援の食料が届けられ給食が再開されることになりました。戦後、学校給食が再開されたことを記念して1月26日は『給食記念日』とされ、30日までを『全国学校給食週間』としています。

食べることの大切さを理解し、感謝していただきましょう。

感謝の心をわすれずに



作る人



運ぶ人



売る人



ゴミを処理する人

給食だけでなく、食べるということは、たくさんの人たちに支えられています。



こんだてを考える人



配膳する人



調理する人

～栄養士のひとこと～



みなさんは給食が出ることは当たり前だと思いませんか？

毎日食事がとれることは普通だと思いませんか？

1月の給食だよりの内容を読んで、給食について、食べるということについて考えてほしいのです。現在、お米を中心に物価が高くなっています。そのような時でも多くの人に支えられて給食が提供されています。

＊12月の給食だよりに『ぐりとぐらシリーズ』の作者名をなかがわりえこさんと記載していましたが、正しくはなかがわりえこさんです。大変失礼しました。